

座談会 針塚校長を語る

者 鐘仁 KK 代表取締役 石坂 虎治郎 (大、七、糸)
鐘淵 蚕糸 KK 取締役 湯 沢 重 敬 (大、一、糸)
席 同 社 取締役 鈴 木 玄 九 (昭、六、糸)
出 同 社 取締役 都 築 清 治 (昭、八、蚕)

ところ鐘淵蚕糸 KK 営業所応接間

鈴木 今日丁度皆さん揃いましたので、先日お話ししております、針塚先生の思い出話をお願いしたいと思います。色々あると思いますが、一つ石坂さんからお願います。

石坂 その頃の校長は文部省から来た計りで若くてとても張り切っていた。ガウンを着て髭を生やし、颯爽として教壇に立った姿を、今でも彷彿します。質実剛健の精神を教育方針として何事も率先垂範だった。寒稽古が毎年あったがそれにも校長は必ず皆勤した。校長は剣道ではなくて柔道の方でしたが、初段位であったと思う。又毎年の運動会にも必ず出て、何事も終り迄やり通す事が大事だと云って、自分でもそれを実行した人でした。先日何か良い写真が無いかと捜したら、運動会に校長がズボンを捲くって走っているスナップ写真が見付かった。金ピカの服を着た写真なら何処にもあるが、このスナップ写真は珍しい。校長が終り迄走って、ホウ俺よりも遅いやつがあるなあ

と云う所を撮ったものです。先日学校に行った時出しておいたが。

湯沢 校長には当時本館の二階の講堂で倫理を教わった。現在迄特に印象に残っている言葉は「汗かく者に非ざれば語るに足らず」と云う一句です。この信念で教育し又校風を造って行った。論語の中の文句を良く引用して話をされた。大分むずかしい話を聞いた訳だが今猶この言葉は生きている様な気がする。又卒業する時卒業生全部に「祝辞・挨拶の模範集」と云う様な本を一冊ずつ呉れた。卒業して夫々官界なり実業界なりに入って、人の上に立つ心構えを示されたものと誠に敬服していまでも大事に保存してある。

石坂 そうだ、我々のときには未だそれが本になっていなくて、プリントだった。初め倫理は新築先生が教えていた。あの特長のある声が思い出される。例の声で「鶴は八分の真理を知るや」と云うくだり。新築先生がやめてから校長が倫理を教える様になった。

都築 我々のときも倫理でした。学生のとき記念アルバムを作りましたが、そのアルバムに校長が一人ずつ真筆で処生訓を書いてくれました。むずかしい文句で一寸思い出せませんが。

鈴木 私は都築君よりも一寸早いですが、その頃の校長は一番円熟の境地であったでしょう。処生訓も年と共に変わった様で、私共の時は「進んで難局に当り身を挺して事に従え」でした。所謂「挺身従事」で一貫し、卒業の時の記念アルバムには一様

に「唯頼我力」の四字が書かれてありました。校長が学生一人一人にどうと云う様な事はなかつたが、各先生学校内隔々迄校長の精神が反映していた様に思う。

湯沢 先生は書もよく書かれましたが、画もかきましたね。画は若竹をよく書いた様に思います。若竹がすく／＼と伸びて行く所が好きだったじゃあないですか。それに竹は節を曲げない所なども。

石坂 神戸に關係のある思い出と云えば、先生のご長女に梅子さんと云う方があって、この方が暫く神戸に居られた事がありました。その時分先生が満州か何処かの帰りに神戸に寄られたのだと思いますが、その時神戸の同窓が集まって一緒に食事をした事を憶えています。場所は何処だったかなあ。生糸検査所の大塚さんや今は官界を退かれた沖濤治さんも一緒だったと思う。卒業生が夫々各地でどの様にやっているかを気に掛け、又色々世話になっている事をいちいち感謝されていた。誠に偉い校長であつた。

私も大正九年兵隊から帰って、翌年二月すゝめられて上田で助教授となり、丁度その年大正十年に鐘紡が始めて群馬県新町で製糸をやり出した訳です。三谷先生が鐘紡新町支店の顧問となり、時々新町支店にお伴した。そんな縁で当時の新町工場長山名肇さんの娘さんと私が結婚する事に相成つて、大正十一年上田での結婚式には校長も出てくれて、鐘紡と上田は堅い繋がりが出来たと喜んでくれた。それから私が大正十三年に鐘紡に

入社すると云う事になって、全く思い出が深いわけです。

湯沢 校長は日本刀の趣味を持っておられた。一度先生の自宅にお伺いしたとき、丁度日本刀の手入れか何かしておられて、見せていたゞいた。日本刀の感じと校長の精神とは一脈相通するものがある様な気がする。

石坂 当時謡曲が盛んで、校長始め先生方がやっていて羽衣会と云っていた。私も入会して一年に一度か二度大会があつて校長は仲々上手で、我々初心者は大分苦心したり、随分笑われたものです。

鈴木 どうも私共には校長に個人的な印象はありませんが、終戦後はどうだったでしょうか。

石坂 戦争から終戦後途すつと群馬の渋川在に居られ、随分ご不自由な生活をしておられたのではないかと思います。当時私が鐘紡丸子工場に居つたので、同工場特製品の絹紙の書翰箋や揮毫紙をお送りした処、大変喜ばれ、これで頼まれていた揮毫が出来て大変助かつたと云つて、私にも二枚解説付で書を頂いた。その表装を上田に頼んでおる中に、その人が他所に転じたりして遂に行方不明になってしまい、今解説だけが残っていますが、惜しい事をしました。

鈴木 校長先生に叱られた様な事はなかつたですか。

都築 叱られたと云う様な事は余り無いじゃあないですか。卒業生の良い所は推奨し、又何か功績が上がると大変喜ばれた様です。非常に包擁力があつて、問題の多い学生なんか特に目をか

けておられた様でした。

石坂 その通りで、例の校長排斥運動がありました。学生なんか何も解らずにやっていたわけで、結局大森・勝木両先生あたりが退職されて、自然に治まったわけで、一人の犠牲者を出す事もなく今にして憶えば、校長の偉かった所以ですか。

湯沢 そうく校長は榛嶺と号していましたが、福知山工場の応接間に榛嶺の額がありますよ、どうして福知山にあるか、由来はわからないが。

当時長野県で偉かったのは、校長と県知事の二人で、又金ピカの大礼服が良く似合いましたね。

鈴木 じゃあ、この辺で。どうも有難うございました。

以上